

平成17年8月27日

第3回アイランドシティ土壤調査専門委員会について

含有量試験では、このたび調査を行った15地点すべてで、水銀・鉛・砒素は基準を下回っていました。従って、土壤を直接摂取した場合の健康上の問題はありません。

一方、溶出量試験では、住宅ゾーンにおいて5地点中2地点から、アジアビジネスゾーンにおいて3地点すべてから、医療福祉ゾーンにおいて7地点中4地点から砒素が基準を超えて検出されました。（最大値：0.051mg/L）
検出された砒素については、いずれも自然由来のものであり、調査区域の土壤は北部九州域の一般の土壤と変わらないものであることが確認されました。また、地下水として摂取した場合の評価ですが、この濃度では、健康に影響を及ぼすことはないと考えられます。

前回と今回の調査をもって、博多港開発（株）工区の調査は終了いたしました。次回は、市1工区において6地点で調査を行います。

アイランドシティ土壤調査専門委員会といたしましては、環境を保全するため、今後とも適切な指導助言を行ってまいります。

アイランドシティ土壤調査専門委員会

委員長	浅野直人
委員	島田允堯
委員	神野健二
委員	榎田裕之

【問い合わせ先】

福岡市港湾局環境対策部環境対策課 こうらい ほう 光来, 坊
電話番号 282-7153

土 壌 調 査 結 果

【土壌含有量調査結果】第2種特定有害物質（水銀、鉛、砒素）

特定有害物質が含まれる汚染土壌を、一生涯にわたって直接摂取（経口、呼吸等）し続けても健康に影響が現れない土壌含有量基準値との比較

	指定基準 土壌含有量基準 (mg/kg)	住宅ゾーン					アソビゾーン			医療福祉ゾーン							定量下限値 (mg/kg)
		1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	
水銀及びその化合物	15以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	0.02
鉛及びその化合物	150以下	4	4	6	4	5	9	9	8	7	7	7	6	5	2	2	1
砒素及びその化合物	150以下	10	10	29	2	3	3	3	3	3	2	2	3	4	1	ND	1

ND：不検出

【土壌溶出量調査結果】第2種特定有害物質（水銀、鉛、砒素）

土壌からの特定有害物質の溶出に起因する汚染地下水等を、人(体重50kg)が毎日2L一生涯にわたって飲み続けても健康に影響が現れない溶出量基準値との比較

	指定基準 土壌溶出量基準 (mg/L)	住宅ゾーン					アソビゾーン			医療福祉ゾーン							定量下限値 (mg/L)
		1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	
水銀及びその化合物	0.0005以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
鉛及びその化合物	0.01以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005
砒素及びその化合物	0.01以下	0.008	0.015	0.051	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005

ND：不検出

砒素 (イオン価)	As ³⁺	/	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	As ⁵⁺	/	+	+	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

上段は整地用再生クラッシャーランの分析結果

下段は整地用再生クラッシャーラン下の土壌の分析結果

次回の土壌調査対象区域と調査地点

